



校章の由来

云比也山・品太天皇、狩於此山、一鹿於前、
鳴声比々、天皇聞之、即止翼人、
故山者号比也山、野者号比也山。

(播磨風土記・七〇〇年代初め)

〈大意〉(「比也山」という地名のいわれ)

昔、品太天皇(応神天皇・二八五年頃)がこの
山で狩をされたとき、一頭の鹿が目の前に立っ
て「ヒヒ……」と鳴いた。その鳴声を聞いて天
皇はあわれをもよおし、供人の射ようとするの
を制して鹿をたすけた。

そんなことがあつて以来、この山を「比也山」、
付近一帯の野を「比也野」と呼ぶようになった。
註、※後世、音韻転化し、現在の「比延山」になった。

(上半分)

⇒ カタカナの「ヒ」
の文字を2つあわ
せたもので旧比延
村立比延中学の校
章を受けつぐ。

⇒ (下半分)

西脇市のシンボル
(●)を加味し、
播磨風土記にちな
んだ鹿の角でかこ
む。

